

The 35th Japan Wind and Percussion Competition

2018年 第35回 日本管打楽器コンクール

《開催要項》

内閣総理大臣賞（予定）・文部科学大臣賞・東京都知事賞
全部門の第1位に文部科学大臣賞・東京都知事賞を授与

開催部門

フルート・ホルン・トロンボーン・ユーフォニアム



JAPAN WIND
AND
PERCUSSION
COMPETITION

■開催期間

2018年8月20日（月）～25日（土）

第一次予選・第二次予選・本選

■開催会場（特別協力）

フルート部門：武蔵野音楽大学

ホルン部門：昭和音楽大学

トロンボーン部門：東京音楽大学

ユーフォニアム部門：尚美ミュージックカレッジ専門学校

■特別大賞演奏会及び表彰式

日時：2018年8月31日（金）17：30～

会場：文京シビックホール 大ホール

共演：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

指揮：高関 健

Japan Musical Education and Culture Promotion Society

主催：公益財団法人日本音楽教育文化振興会

2018年 第35回日本管打楽器コンクール

—開催趣旨—

公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催する事業の一つで管楽器及び打楽器の各分野から、国際的視野に立ち有能なソリストを発掘し、優秀な人材の育成及びこのジャンルの啓発を目的とするものです。広く世界の管打楽器の愛好者に呼び掛け、国際交流を図るとともに国際的なコンクールとして更なる発展をして参ります。

—ご挨拶—

「日本管打楽器コンクール」は、1984年に第1回を開催して以来、世界での希有な存在として全管打楽器部門にわたるコンクールとして多大な評価をされており、4分の1世紀以上にわたる若き演奏家の登龍門として、輝かしい成果を収めて参りました。第34回終了時には参加者19,700名を超え、日本国内のオーケストラ分野の管打楽器演奏家には200名以上、アンサンブル・プレイヤーならびに、吹奏楽指導者は数知れず、また多くの方々が海外での演奏活動をされています。

これまで多くの実績・成果を挙げているコンクールとしての評価を賜り、特別大賞演奏会及び表彰式にて、文部科学大臣賞と東京都知事賞を各開催部門第1位入賞者4名に対して、それぞれ授与する運びとなっております。

また今回は、特別協力を賜りフルート部門は武蔵野音楽大学、ホルン部門は昭和音楽大学、トロンボーン部門は東京音楽大学、ユーフォニアム部門は尚美ミュージックカレッジ専門学校で4会場で開催させていただきます。

このコンクールは、管打楽器を学ばれる方々にも学習の場となるよう全日程を公開で実施し、第一次予選・第二次予選・本選・特別大賞演奏会にわたって入場無料としております。若き演奏家の本コンクールへの積極的な参加と関係各位のご声援を心からお願いいたし、ご挨拶申し上げます。

公益財団法人 日本音楽教育文化振興会
理事長 赤松 昌代

■開催日時・会場スケジュール（全日程：入場無料）

○フルート部門 会場：武蔵野音楽大学 江古田キャンパス（東京都練馬区羽沢 1-13-1）

（第一次予選・第二次予選・本選：ブラームスホール）

第一次予選	2018年8月20日（月）～22日（水）	9：00～
第二次予選	2018年8月24日（金）	9：00～
本選	2018年8月25日（土）	13：00～

○ホルン部門 会場：昭和音楽大学（神奈川県川崎市麻生区上麻生 1-11-1）

（第一次予選・第二次予選：汎用スタジオ／本選：ユリホール）

第一次予選	2018年8月20日（月）～21日（火）	9：00～
第二次予選	2018年8月23日（木）	9：00～
本選	2018年8月25日（土）	13：00～

○トロンボーン部門 会場：東京音楽大学（東京都豊島区南池袋 3-4-5）

（第一次予選・第二次予選・本選：100周年記念ホール）

第一次予選	2018年8月20日（月）～22日（水）	9：00～
第二次予選	2018年8月24日（金）	9：00～
本選	2018年8月25日（土）	13：00～

○ユーフォニアム部門 会場：尚美ミュージックカレッジ専門学校（東京都文京区本郷 4-15-9）

（第一次予選・第二次予選・本選：バリオホール）

第一次予選	2018年8月20日（月）～21日（火）	9：00～
第二次予選	2018年8月23日（木）	9：00～
本選	2018年8月25日（土）	13：00～

○特別大賞演奏会及び表彰式

日時	2018年8月31日（金） 17：30～
会場	文京シビックホール 大ホール（東京都文京区春日 1-16-21）
指揮・共演	高関 健 / 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

■後援

内閣府、文部科学省、外務省、ドイツ連邦共和国大使館、中華人民共和国駐日本国大使館文化部、駐日韓国大使館 韓国文化院、東京都、文京区、文京区教育委員会、豊島区、豊島区教育委員会、練馬区、練馬区教育委員会、川崎市、川崎市教育委員会、「音楽のまち・かわさき」推進協議会、公益社団法人日本演奏連盟、公益社団法人日本オーケストラ連盟、一般社団法人日本音楽著作権協会、一般社団法人日本管打・吹奏楽学会、一般社団法人全日本吹奏楽連盟、東京都吹奏楽連盟、神奈川県吹奏楽連盟、他（順不同）

■特別協力

武蔵野音楽大学、昭和音楽大学、東京音楽大学、尚美ミュージックカレッジ専門学校（順不同）

■協力

一般社団法人日本フルート協会、日本ホルン協会、
日本トロンボーン協会、日本ユーフォニアム・テューバ協会（順不同）

■協賛企業

株式会社図書出版、東京都民銀行春日町支店、株式会社ビュッフェ・クランポン・ジャパン、株式会社ヤマハミュージックジャパン、株式会社グローバル、野中貿易株式会社、株式会社ダク、株式会社ドルチェ楽器、パウエル・フルート・ジャパン、株式会社村松フルート製作所、株式会社セントラル楽器、株式会社プリマ楽器、株式会社三響フルート製作所、ブレーン株式会社、パール楽器製造株式会社、株式会社フォトライフ、株式会社JTB関東、他（順不同）

■協賛大学

京都市立芸術大学、愛知県立芸術大学、沖縄県立芸術大学、国立音楽大学、東邦音楽大学、桐朋学園大学音楽学部、尚美学園大学、上野学園大学、日本大学芸術学部音楽学科、名古屋芸術大学、名古屋音楽大学、相愛大学音楽学部、くらしき作陽大学音楽学部、エリザベト音楽大学、平成音楽大学、他（順不同）

■表彰及び賞金

○内閣総理大臣賞（予定）：（特別大賞授賞者）

日本管打楽器コンクールの各開催部門第1位入賞者が特別大賞演奏会でオーケストラと共演、各開催部門審査委員長及び特別審査委員より特別大賞を決定します。特別大賞授賞者には、内閣総理大臣賞（予定）が授与されます。特に「内閣総理大臣賞（予定）」につきましては、意義のあるコンクールとして評価され、多くの実績・成果を挙げている本コンクールならではの権威のある賞です。

○文部科学大臣賞：（各開催部門第1位入賞者）

特別大賞演奏会表彰式にて、各開催部門第1位入賞者4名に、文部科学大臣賞が授与されます。

○東京都知事賞：（各開催部門第1位入賞者）

特別大賞演奏会表彰式にて、各開催部門第1位入賞者4名に、東京都知事賞が授与されます。

○別賞：（東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 特別賞）

特別大賞演奏会に出演した各開催部門第1位入賞者の中から選ばれ、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団の演奏会にソリストとして出演が出来ます。

○別賞：（特別大賞演奏会 聴衆賞）

特別大賞演奏会に出演した各開催部門第1位入賞者の中から選ばれ、聴衆の投票により特に感銘を受けた奏者に贈ります。

○賞金（各部門）

第1位 70万円 第2位 30万円 第3位 10万円 入選 5万円（4位、5位）

審査規定により、本選に入賞した各部門の入賞者には、審査委員署名入りの賞状及び上記の賞金を贈呈します。

■運営役員及び審査委員

運営委員長	尾高 忠明	（NHK交響楽団正指揮者）
運営副委員長	青木 明	（名古屋芸術大学名誉教授）
	吉井 實行	（公益社団法人日本オーケストラ連盟専務理事）
	松尾 祐孝	（日本現代音楽協会理事）
運営実行委員長	石渡 悠史	（日本サクソフォン協会会長）
運営実行副委員長	井上 順平	（日本トロンボーン協会会長）
運営委員	高久 進	（一般社団法人日本フルート協会常任理事）
	山岸 博	（洗足学園音楽大学客員教授）
	古賀 慎治	（東京藝術大学准教授）
	外園 祥一郎	（東京音楽大学教授）
運営事務局長	尾上 将己	（公益財団法人日本音楽教育文化振興会常務理事）

■各審査委員一覧（五十音順に掲載）

○フルート部門

審査委員長	高久 進	(一般社団法人日本フルート協会常任理事)		
審査委員	相澤 政宏	(東京交響楽団首席)	大友 太郎	(国立音楽大学教授)
	神田 寛明	(NHK交響楽団首席)	清水 信貴	(相愛大学音楽学部教授)
	中野 真理	(東京音楽大学准教授)	吉岡 アカリ	(東京フィルハーモニー交響楽団首席)

○ホルン部門

審査委員長	山岸 博	(洗足学園音楽大学客員教授)		
審査委員	阿部 雅人	(沖縄県立芸術大学教授)	西條 貴人	(東京都交響楽団首席)
	澤 敦	(東邦音楽大学准教授)	樋口 哲生	(昭和音楽大学教授)
	丸山 勉	(武蔵野音楽大学准教授)	水野 信行	(東京音楽大学教授)

○トロンボーン部門

審査委員長	古賀 慎治	(東京藝術大学准教授)		
審査委員	井口 有里	(東京都交響楽団)	石川 浩	(東京フィルハーモニー交響楽団)
	岡本 哲	(京都市交響楽団首席)	倉田 寛	(愛知県立芸術大学准教授)
	黒金 寛行	(NHK交響楽団)	若狭 和良	(エリザベト音楽大学准教授)

○ユーフォニアム部門

審査委員長	外園 祥一郎	(東京音楽大学教授)		
審査委員	岩黒 綾乃	(東京佼成ウインドオーケストラ)	木村 寛仁	(大阪音楽大学教授)
	齋藤 充	(国立音楽大学講師)	庄司 恵子	(シエナ・ウインド・オーケストラ)
	露木 薫	(名古屋音楽大学教授)	幡野 武	(くらしき作陽大学講師)

○特別審査委員

池辺 晋一郎	(作曲家)	井上 道義	(指揮者)
蠣崎 耕三	(オーボイスト)	澤 和樹	(東京藝術大学学長)
増井 信貴	(指揮者)		

■参加の手続きについて

- 参加資格 1983年（昭和58年）4月1日以降に出生の者。
ただし、このコンクールで過去に第1位入賞者の参加は認められません。
- 募集人員 フルート部門 220名 ホルン部門 160名
トロンボーン部門 240名 ユーフォニアム部門 130名
- 受付期間 2018年（平成30年）5月8日（火）～6月22日（金）（当日の消印まで有効）
※定員になり次第締め切ります。
※ホームページによる申込みの開始は、5月8日（火）14時からとなります。
- 申込方法 参加希望者は（A）郵便申込み、（B）オンライン申込みのいずれか一方を選択し、受付期間内に申込みを完了して下さい。参加承認の通知受領後、⑤の支払いをして下さい。
※1つでも不備がある場合は、受付出来ませんのでご注意ください。

	(A) 郵便申込み	(B) オンライン申込み
①申込み	申込書（別紙）に規定事項を記入し、送付先に郵送して下さい。申込書はホームページからダウンロードすることもできます。 http://www.jmecps.or.jp/	ホームページよりオンライン申込みを行って下さい。 http://www.jmecps.or.jp/
②出演者並びに伴奏者の写真または高画質データ	出演者並びに伴奏者の写真各1枚を、申込書の指定箇所に貼って下さい。	オンライン申込みの際に、各写真をアップロードして下さい。
	※上半身・正面から撮影したものを使用して下さい。 ※申込日より、6ヶ月以内に撮影したものに限りです。 ※写真の大きさは、縦50mm×横40mmのものとしします。 ※画像データは、700×1000ピクセル以上のものをアップデートして下さい。 ※印刷物やHPに使用しますので、著作権による制限がないものを送付して下さい。	
③生年月日が証明できる書類	申込書と同封して送付先に郵送して下さい。	オンライン申込みの際に、証明書類をアップロードして下さい。
	※学生証・パスポート・免許証・健康保険証・住民票等のコピーを送付して下さい。 ※有効期限が切れているものは、書類不備とします。	
④その他	返信用封筒（長3サイズ）2部に郵便番号、住所、氏名を表記し、82円切手を貼付して同封して下さい。	
送付先	〒113-0033 東京都文京区本郷4-15-9 公益財団法人日本音楽教育文化振興会 日本管打楽器コンクール事務局 TEL：03-3814-2977 ※封筒表面左下に必ず部門名を記入すること。	
参加承認可否の連絡	申込書類を確認次第、参加承認可否の通知を郵送します。	申込書類を確認次第、参加承認可否の連絡をメールします。
	※各部門とも先着順で申込みを受付、定員になり次第締め切らせて頂きます。 ※書類不備の場合は受付出来ません。書類が揃ってから受付となります。	

⑤参加料の 振込み	参加承認連絡の受領後、 <u>7日以内に参加料33,000円（税込）を、通知文内に記載の指定銀行口座に振込みをして下さい。</u>
	<p>※手数料は本人の負担とします。</p> <p>※期日までに参加料が支払えない場合は、不参加とみなす場合があります。</p> <p>※参加料はいかなる理由があっても返還しません。</p> <p>※参加料の納付をした時点で参加の決定とさせていただきます。</p>
出場者カードの 発行	演奏の日時は、運営委員会により開催部門ごとに決定され、7月下旬頃、出演番号、集合時間、演奏時間等を記載した出場者カードを郵送します。
	<p>※縦50mm×横40mmの写真を必ず貼って、当日受付に提示して下さい。</p> <p>※写真が貼っていない出場者カードは、参加出来なくなる場合があるので、十分ご注意ください。</p>

- 参加者の義務 運営委員会より指定された日時並びに開催楽器部門会場の所定の場所に出場者カードを持参し、伴奏者同伴にて集合をして下さい。
※コンクールにおける定められた集合時間については必ず厳守して下さい。
参加当日、事故等により欠演の場合はご連絡下さい。
- 旅費・滞在費 参加地への往復旅費及び滞在費は、参加者の個人負担とします。
- 演奏の方法 (1) 演奏方法については本要項の課題曲の注意事項に遵守するものとします。
(2) 演奏時間については、運営委員会の指示に従って行います。
(3) 予選・本選とも一般無料公開とします。
- 伴奏 ピアノ伴奏者は参加者が用意し、写真・連絡先を添付の上、各申込みに明記して下さい。なお、ピアノ伴奏者の譜めくりは、参加者でご用意ください。
※伴奏者変更の場合は、事前に伴奏者変更申請書にて変更の手続きを要します。
※オンライン申込みの方のみ、ホームページから変更が可能です。
伴奏者変更申請書の締め切り：2018年8月10日（金）必着
- 審査方法 審査は第一次予選・第二次予選を経て、本選にて入賞を決定します。
また、入賞者による特別大賞演奏会の審査に関しては運営委員会で定めます。
- 注意事項 (1) コピー楽譜の使用は、著作権上の問題が生じますので使用を原則的に禁止します。
(2) 申込み後の課題曲・選択曲の変更は認められません。
(3) 参加者は、他の楽器部門の日程を把握した後、伴奏者へ依頼を行うこと。
(4) 本コンクールはすべて日本語での開催となります。通訳等の対応はしておりませんので、参加者が必要に応じて用意して下さい。
(5) 開催期間に自然災害（地震・台風等）が発生した場合、直ちに運営委員会で検討し速やかに対応する。
(6) 本コンクールの入賞者は、本財団主催以外の演奏会並びに企業企画の催物・広告等に演奏・参加する場合は、2018年8月31日より向こう1年間、本財団の事前了解を得なければなりません。
(7) 本コンクールに伴う全ての演奏に関して、下記の全ての権利は主催者の公益財団法人日本音楽教育文化振興会に帰属します。また、主催者がこれを利用することについて異議を述べることはできません。
 1. 演奏の録音・録画・撮影をすること。
 2. 録音・録画をラジオ・テレビ等での放送をすること。
 3. 録音・録画を主催者ホームページにて掲載・紹介すること。

■日本管打楽器コンクール規約

第一章 総則

(名称)

第1条 このコンクールの名称は「日本管打楽器コンクール」と称し、西暦年度と通算回数を冠する。略称 J W P C (JAPAN WIND AND PERCUSSION COMPETITION) と称する。また、このコンクールは毎年開催する。

(主催)

第2条 このコンクールは公益財団法人日本音楽教育文化振興会が主催し、運営本部は本公益財団事務局に置かれる。また本コンクール開催並びに参加者の演奏等に関する全ての権利は、公益財団法人日本音楽教育文化振興会に所属する。

(目的)

第3条 このコンクールは管楽器及び打楽器の各分野において、国際的な視野に立ち、有能なソリストを発掘し、優秀な人材育成及びこのジャンルの啓発を目的とする。

(内容)

第4条 このコンクールは、各管打楽器の種類に属するフルート・クラリネット・オーボエ・ファゴット・サクソフォーン・トランペット・ホルン・トロンボーン・ユーフォニアム・チューバ・パーカッション・マリンバの中から4部門を選び、すべての楽器部門にわたって開催する。

(運営委員会)

第5条 運営委員会は、組織・運営・予算等を諮り、責任ある開催運営を行う。

2 本コンクール開催にあたり、社会情勢並びに音楽界の趨勢を洞察し、運営委員長のもと優れた理念による運営を図れる運営委員を選出する。

3 運営委員会は、円滑なコンクール運営を図るため、運営委員より実行委員長並びに実行副委員長の選出を行う。

4 運営委員会は、厳正なる審査・検討のもと各部門審査委員長の選出を行う。

5 各部門審査委員の選出について、各部門審査委員長は各部門審査委員候補を推薦し、運営委員会において厳正なる審査・検討を行い、各部門審査委員の選出・決定を行う。

6 各部門課題曲の選考等について、各部門審査委員長は運営委員会にて了承を得る。

(運営実行委員)

第6条 運営委員会は、必要と判断した楽器部門の場合のみ、円滑なコンクール運営を図るため、その楽器部門における専門知識を有する者を選出し、実行委員とする。

(各部門審査委員長)

第7条 優れた各部門審査委員長の選出は運営委員会で行う。選出された各部門審査委員長は運営委員会との連携により、各当該年度の運営委員会構成メンバーとして、開催年度の楽器部門の責任ある運営にあたる。

(特別協力)

第8条 このコンクール開催にあたり特別協力である大学及び専門学校を選出し、開催時の会場提供と運営協力を依頼する。2年前の依頼を原則とする。特別協力の依頼の際は、開催年度・開催楽器部門の特性を考察し、特定の大学及び専門学校関係者に偏ることのない審査委員選出を行う。尚、運営委員及び審査委員長は各特別協力開催会場でのコンクール開催期間の運営の責任を有する。

第二章 参加及び出場

(参加資格)

第9条 このコンクールの参加資格は、年齢資格が満35歳以下とする。但し、このコンクールで過去に第1位入賞者の参加は認められない。

(申込方法)

第10条 このコンクールの参加者は、郵送・オンラインのいずれかの申込みに規定事項を記載し、生年月日が証明できるものを添付して、公益財団法人日本音楽教育文化振興会内日本管打楽器コンクール事務局宛に、期日までに申込みをしなければならない。(締め切り日の消印まで有効。)

(参加の承認)

第11条 前条で規定した書類到着次第、事務局より定員内外の通知を行う。定員内であれば、参加希望者は通知到着後、7日以内に参加料33,000円を支払わなければならない。その到着を以て参加を承認したものとする。申込み後、参加を取り消す場合があっても、払い込まれた参加料は返却しない。

(出場者カードの発行)

第12条 申込書及び申請書類・参加料の送付により、参加承認がなされた後、運営委員会の決定による受付番号・出演番号・集合時間・演奏時間等を記載した出場者カードを発行し参加者に通知する。

(演奏日時の通知)

第13条 演奏日時は締め切り後、参加者に通知する。

(参加者の義務)

第14条 参加者は運営委員会より指定された日時並びに開催楽器部門会場の所定の場所に出場者カードを持参し、伴奏者同伴にて集合しなければならない。また事情により棄権する場合は、事前にその旨連絡を要する。

2 本コンクールにおける外国語による通訳の用意は行わない。尚、通訳を必要とする場合は参加者が用意し、必ず演奏規定を遵守することを要する。

3 マリンバ部門はコンクール期間に提供する楽器とその音盤破損費用として参加者一人あたり、別途2,000円を第一次予選の際に支払わなければならない。

(旅費及び滞在費)

第15条 参加地への往復旅費及び滞在費は参加者の個人負担とする。

(演奏順序)

第16条 演奏の順序は、運営委員会で決定する。

(演奏規定)

第17条 演奏に関するすべての手段は、運営委員会の指示により行う。運営委員会で指定された演奏箇所を必ず演奏する。その際、演奏規定に違反した場合は失格とする。

2 演奏に当たっては、伴奏者も同様に注意事項並びに演奏前の確認を要する。

(演奏曲目)

第18条 演奏曲目に関しては、運営委員会の承認により決定する。

(審査)

第19条 演奏の審査は運営委員会で定めた審査規定により行う。

第三章 審査規定

(運営実行委員長・運営実行副委員長・各開催楽器部門審査委員長・各開催楽器部門審査委員の義務)

第20条 運営実行委員長及び運営実行副委員長は、開催楽器部門のすべてを統括・把握し、運営及び審査の指導を行う。

2 開催楽器部門審査委員長は、開催楽器部門において公正な審査運営を義務付け、その責任を負う。

3 審査委員は原則として、開催楽器部門審査委員長を含む7名により構成され、第一次予選・第二次予選・本選の審査にあたり、参加者の入賞・入選の選出にあたる。開催楽器部門の審査委員は第一次予選・第二次予選・本選の全出場者の審査を行わねばならない。(但し、外国より招聘する審査委員については、第二次予選より審査に加わる場合がある) また審査委員は審査権を放棄することは出来ない。

4 特別大賞演奏会の審査委員は、開催楽器部門審査委員長、特別審査委員として選出された若干名の音楽有識者の構成により行われ、特別大賞者の選出にあたり、表彰式に出席するものとする。

第四章 表彰

(表彰)

第21条 表彰に関しては、審査発表時に公表され、各官庁からの表彰状並びに各関係団体・審査委員からの特別表彰が行われ、賞金については、各部門に第1位70万円、第2位30万円、第3位10万円、入選者2名に5万円を授与する。

本選に出場した者には、各部門に審査委員署名の賞状を贈呈する。

(特別大賞演奏会及び表彰式)

第22条 本コンクール最終にあたり、入賞者の表彰並びに各開催楽器部門第1位入賞者のため、入賞者特別大賞演奏会を開催する。

(付則)

一. 本コンクールの入賞者が、当該年度の外部への出演をする場合は、特別大賞演奏会及び表彰式開催日を含む向う1年間本財団に事前の許可を得なければならない。

一. 本コンクールに伴う演奏に関わる全ての権利は、主催者の公益財団法人日本音楽教育文化振興会に帰属するものとする。また主催者がこれを利用することについて異議を述べることはできない。

1. 演奏の録音・録画・撮影をすること。

2. 録音・録画をラジオ・テレビ等での放送をすること。

3. 録音・録画を主催者ホームページにて掲載・紹介すること。

一. 本規約に関し、開催・運営・すべてに関わる変更がある場合は、運営委員会に諮り、理事会の了承を得る。

一. この開催要項に関して発生する問題は、日本語の本要項に基づき、かつ日本の法律に準拠して解決される。

一. 外国語翻訳による規約条件に関して疑義が生じた場合は、日本語によるものが正文とする。

一. 開催期間に自然災害(地震・台風等)が発生した場合は、直ちに運営委員会で検討し速やかに対応する。

■課題曲について

●フルート部門

◆第一次予選

下記の課題曲①②の順序で演奏すること。

<課題曲>

① C.Deussy : Syrinx pour flûte seule [出版社：指定なし]

② S.Karg-Elert : No.3 from 30 Caprices(Studies) for Flute op.107 [出版社：指定なし]

※繰り返し無し

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆第二次予選

下記の課題曲と選択曲の中から1曲を選び、課題曲選択曲の順序で演奏すること。

<課題曲>

J.S.Bach : Partita a-moll für Flöte allein BWV1013 [出版社：指定なし]

※繰り返し無し

<選択曲>

① H.Dutilleux : Sonatine [出版社：指定なし]

② S.Karg-Elert : Sinfonische Kanzone [出版社：指定なし]

③ F.Martin : Ballade [出版社：指定なし]

④ P.Sancan : Sonatine [出版社：指定なし]

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆本選

W.A.Mozart : Konzert G-Dur KV313 [出版社：指定なし]

「注意事項」

・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。

●ホルン部門

◆第一次予選

<課題曲>

W.A.Mozart : Konzert für Horn und Orchester Nr.2 Es-Dur KV417 より [出版社：指定なし]

※第1楽章の第21小節から第117小節の1拍目まで演奏すること。

「注意事項」

- ・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。
- ・使用楽器は、HighF HighEs HighB その他のディスクラント管を組み込んだ楽器を使用してはならない。

◆第二次予選

下記の課題曲と選択曲の中から1曲を選び、課題曲選択曲の順序で演奏すること。

<課題曲>

L.Cherubini : 2 Sonaten für Waldhorn und Streichorchester より II .Sonate [出版社：指定なし]

<選択曲>

- ① P.Dukas : Villanelle pour Cor et Piano [出版社：指定なし]
- ② E.Bozza : En Forêt pour Cor en Fa et Piano [出版社：指定なし]
- ③ H.Busser : La Chasse de Saint-Hubert op.99 [出版社：指定なし]

「注意事項」

- ・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。
- ・使用楽器は、HighF HighEs HighB その他のディスクラント管を組み込んだ楽器を使用してはならない。

◆本選

R.Strauss : Konzert für Horn und Orchester Nr2. Es-Dur [出版社：指定なし]

「注意事項」

- ・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。
- ・使用楽器は、HighF HighEs HighB その他のディスクラント管を組み込んだ楽器を使用してはならない。

●トロンボーン部門

◆第一次予選

<課題曲>

Tenor Trombone /

E.Sachse : Concertino for Trombone and Piano [出版社 : International Music Company]

■ Bass Trombone /

E.Sachse : Konzert für Bassposaune und Klavier (in F-Dur) [出版社 : Zimmermann]

※ Tenor、■ Bass ともに第 12 小節から第 104 小節の 3 拍目まで演奏する。

適宜間を置き、第 116 小節から第 119 小節のフェルマータまで演奏すること。

「注意事項」

・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。

◆第二次予選

下記の課題曲と選択曲の中から 1 曲を選び、課題曲選択曲の順序で演奏すること。

Tenor Trombone /

<課題曲>

H.Dutilleux : Choral, Cadence et Fugato [出版社 : Leduc]

<選択曲>

① P.Bonneau : Capriccio [出版社 : Leduc]

② F.Hidas : Movement for Trombone and Piano [出版社 : Editio Musica Budapest]

③ V.Holmboe : Sonate per Trombone e Piano, Op.172 [出版社 : Edition Wilhelm Hansen]

④ S.Sulek : Sonata for Trombone and Piano, "Vox Gabrieli" [出版社 : Editions Bim]

■ Bass Trombone /

<課題曲>

J.Castérède : Fantaisie Concertante pour Trombone Basse [出版社 : Leduc]

<選択曲>

① F.Hidas : Rhapsody for Bass Trombone [出版社 : Editio Musica Budapest]

② E.Lassen : Zwei Fantasiestücke Op.48 (B.Bollinger) [出版社 : Ensemble Publications]

③ A.Lebedjew : Konzert Nr.1 [出版社 : Hofmeister]

④ A.Wilder : Sonata for Bass Trombone and Piano より I , IV , V [出版社 : Margun Music]

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆本選

Tenor Trombone /

D.Bourgeois : Trombone Concerto, Op.114 [出版社 : G&M Brand]

■ Bass Trombone /

E.Ewazen : Rhapsody for Bass Trombone and String Orchestra [出版社 : Warwick Music]

「注意事項」

・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。

●ユーフォニアム部門

◆第一次予選

<課題曲>

J.Stevens : Soliloquies 1st movement [出版社 : Tuba-Euphonium Press]

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆第二次予選

下記の課題曲と選択曲の中から1曲を選び、課題曲選択曲の順序で演奏すること。

<課題曲>

J.S.Bach (P. Fritsch) : Sonate en trio No.1 BWV525 [出版社 : Billaudot]

<選択曲>

① R.Boutry : Mosaique [出版社 : Billaudot]

② E.Boccalari : Fantasia di Concerto [出版社 : Tuba-Euphonium Press]

③ A.Désenclos : Suite brève [出版社 : Billaudot]

④ G.Jacob : Fantasia [出版社 : Boosey&Hawkes]

「注意事項」

・暗譜の必要性は無しとし、ブラインド審査無しとする。

◆本選

V.Cosma : Euphonium Concerto [出版社 : Larghetto Music]

※カデンツァについては自由とする。

「注意事項」

・暗譜で演奏とし、ブラインド審査無しとする。

**公益財団法人日本音楽教育文化振興会
日本管打楽器コンクール事務局**

〒113-0033 東京都文京区本郷 4-15-9

TEL 03-3814-2977 FAX 03-3814-3302

<http://www.jmecps.or.jp/> E-mail: jmecps@jmecps.or.jp